



# 消防千葉

**2018 No.562** 平成30年8月号

---

平成30年8月1日 編集兼発行人  
千葉市中央区仁戸名町666番地2 千葉県消防会館内  
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅  
TEL043(263)9885  
郵便番号 260-0801  
ホームページ <http://business4.plala.or.jp/chisyo/>  
メールアドレス [chisyokai@bz04.plala.or.jp](mailto:chisyokai@bz04.plala.or.jp)

---



スプラッシュシェイカー (山武市) 山武支部

## 巻 頭 言

## 「基本理念の実現に向けて」

柏市消防局 消防局長 村井 浩



柏市は、都心から30km圏の千葉県北西部に位置し、利根川を境に茨城県と接しており、市域は、東西約18km、南北約15km、面積は114.9km<sup>2</sup>であり、地勢はほぼなだらかな下総台地の堅固な地盤上を中心に、市街地や里山が形成されております。

交通網にも恵まれJR常磐線や東武アーバンパークライン、つくばエクスプレスといった鉄道路線のほか、主要幹線道路として国道6号線・16号線や常磐自動車道が市内を通過し、JR柏駅を中心とした商業集積の整備や柏の葉地区周辺における柏の葉国際キャンパスタウン構想による新しい街並みと、利根川や手賀沼の自然環境と緑に恵まれた自然の豊かさとの調和により、将来都市像である「未来へつづく先進住環境都市・柏～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～」の実現を目指しております。

また、「柏レイソル」や「JX-ENEOSサンフラワーズ」などのトップチームの活動拠点として賑わいを見せているなか、来年には、日本で開催されるラグビーワールドカップに出場するニュージーランド代表（オールブラックス）が柏市で事前合宿を行うことも決定し盛り上がりを見せつつあります。

折しも今年、自治体消防制度誕生から70周年を迎える記念すべき年であるとともに、柏市消防局においても、常備消防発足から60周年という大きな節目を迎える年となりました。

人口約42万人の安全・安心な暮らしを支える消防体制は、1局4署7分署で組織された502名の消防職員と、団本部と女性消防分団を合わせた43分団の消防団員631名が連携し、市内全域をカバーしております。

消防局では、大規模地震発生の懸念が高まり、今年に入ってから大阪府北部や長野県北部、群馬県南部を震源とする大きな地震が相次いで発生している現状を踏まえ、非常時体制の再構築や参集体制の確立・強化を柱とした施策に取り組んでいるところです。

また、糸魚川市の大規模な市街地火災をはじめ三芳町の大規模物流倉庫火災や札幌市の自立支援住宅での火災の発生など、従来の火災対策の見直しも急務の状況下において、新たな消防戦術の策定による消防活動体制の強化や機動査察隊を中心とした予防対策の充実にも着手しております。

さらに、国を挙げて女性の活躍推進に取り組んでいるなかで、女性消防職員の特性を活かした情報発信グループ「にじいろ救命女子」を結成し、その取り組みを後押しするとともに、女性消防分団は「救命サポート隊」による救命講習をはじめ全国女性消防操法大会に千葉県代表として出場するなど、組織の活性化につながる「女性の力」を十分に発揮できる職場環境と体制の整備にも取り組んでおります。

今後も、多種多様化する消防需要に対応するため、柔軟な職場環境により組織を活性化していくとともに消防力の整備充実を図り、柏市消防局の基本理念である「市民の安全性を高める消防行政」を展開してまいります。

最後に、記念すべき年にあたり、我が国の消防防災体制の更なる発展を願い、私の巻頭の言葉とさせていただきます。



## 第54回 市町村消防長・消防団長会議の開催

第54回市町村消防長・消防団長会議が鴨川市の鴨川ホテル三日月で、県下各市町村から消防局長、消防長と消防団長等約150名の出席により7月11日・12日の2日に亘って開催されました。

11日の14時から本年度に新たに就任した消防（局）長13名、消防団長9名の計22名の紹介、小田山消防協会副会長の開会の言葉で始まり、石橋千葉県消防協会長の挨拶、



挨拶する石橋会長

挨拶、高橋千葉県副知事及び日本消防協会長（代理銀川業務部長）の来賓祝辞の後、添谷消防課長、石橋消防学校副校長の来賓紹介並びに千葉県消防協会の副会長の石塚正徳、小田山博史、鈴木格、斉藤弘一及び小川総夫の紹介を行いました。



高橋副知事の祝辞



日本消防協会銀川業務部長の祝辞

その後、石橋協会長の議長により議事進行が行われ、玉井専務理事から千葉県消防協会の事業計画、主要行事予定及び第54回千葉県消防操法大会の説明、添谷防災危機管理部消防課長から消防学校・防災研修センターの整備、消防団員の確保対策など防災危機管理部の説明が行われました。石橋副校長による消防学校の教育訓練実施計画の説明に続き、銀川日本消防協会業務部長から各共済事業等の説明がなされ、議事は無事終了しました。

休憩後、危機管理教育研究所の代表で危機管理アドバイザーの国崎信江講師による「地域防災力の向上に向けた消防団活動について」と題する講演が行われました。

国崎信江講師は、神奈川県横浜市生まれ、危機管理アドバイザー。危機管理教育研究所代表。女性として、生活者の視点で防災・防犯・事故防止対策を提唱している。地震調査研究推進本部政策委員会、防災科学技術委員会などの国や自治体の防災関連の委員を務める。現在は講演活動を中心にテレビや新聞などのメディアに情報提供を行っているほか、被災地での支援活動を発生直後から継続して行っている。

おもな著書に「決定版！巨大地震から子どもを守る50の方法」（ブロンズ新社）「サバイバルブック－大地震発生その時どうする？」（日本経済新聞出版社）「マンション・地震に備えた暮らし方」（エイ出版社）などがある。



講師 国崎信江危機管理アドバイザー



講演では、県内の勝浦市の事例として地震ハザードマップ、防災ブック津波編の説明、災害時における消防団の課題、災害時特有の救助方法など詳しく説明して頂き、大変興味深く貴重なものとなりました。

夜には、石川徹防災危機管理部長、亀田郁夫鴨川市長、川名康介県議会議員の出席を得て、交流会が盛大に行われました。



石橋会長



石川防災危機管理部長



亀田鴨川市長



川名県議会議員



## 第54回 千葉県消防操法大会の開催

(平成30年8月4日、於千葉県消防学校)

千葉県と(公財)千葉県消防協会が主催(後援(公財)日本消防協会)する第54回千葉県消防操法大会が、8月4日(土)千葉県消防学校において盛大に開催されました。

大会は台風12号の影響により順延となりましたが、当日は晴天のなか、県内の消防関係者や応援の家族等を含め約2,000名が参加、県内の各支部(10支部)から厳しい予選を勝ち抜いてきた、ポンプ車操法の部12チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。

会場の消防学校のグラウンドには、各出場チームのテントが立ち並び、必勝祈願の幟旗が翻って、応援団も盛り上がっていました。



入場行進



大野総指揮者

午前9時、出場団員の入場行進が始まり、大野藤夫千葉支部長の総指揮者宣言による整列の後、小田山博史協会副会長の開会のことば、国旗掲揚、殉職者に対する黙とう、表彰旗返還等の後、大会名誉会長森田健作千葉県知事、大会会長石橋毅千葉県消防協会会長から挨拶がありました。



森田千葉県知事



石橋消防協会会長

吉本充県議会議長、明智忠直(旭市長)市長会代表及び岩田利雄(東庄町長)町村会会長からの来賓祝辞、倉田消防協会最高名誉顧問等からの祝電披露の後、成田市消防団日改雅也から出場団員代表宣誓が行われ、消防操法の競技が開始されました。



吉本県議会議長



選手宣誓



各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、会場からはそれぞれ自分の団のチームに対し、盛大な歓声が上がっていました。

ポンプ車 操法競技



小型ポンプ 操法競技





佐倉市八街市酒々井町消防組合消防音楽隊による演奏

競技終了後、休憩時にはアトラクションとして佐倉市八街市酒々井町消防組合消防音楽隊による演奏が行われました。

審査の結果は、淡路武夫審査長（千葉県消防学校長）から発表され、それぞれ団体の部、個人の部で栄えある受賞をされました。

成績の一覧は下表のとおりです。

### ★ 団 体 の 部 成 績

ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部	
順 位	消防団名	順 位	消防団名
最優秀賞	大多喜町消防団	最優秀賞	市川市消防団
優 秀 賞	南房総市消防団	優 秀 賞	八街市消防団
優 良 賞	四街道市消防団	優 良 賞	大多喜町消防団
努 力 賞	山武市消防団	努 力 賞	市原市消防団
//	成田市消防団	//	袖ヶ浦市消防団
//	市川市消防団	//	旭市消防団
//	浦安市消防団	//	成田市消防団
//	君津市消防団	//	横芝光町消防団
//	八千代市消防団	//	鋸南町消防団
//	銚子市消防団	//	柏市消防団
//	長生郡市広域市町村圏組合消防団	//	長生郡市広域市町村圏組合消防団
//	香取広域市町村圏事務組合香取市消防団	//	香取広域市町村圏事務組合香取市消防団

### ★ 個 人 の 部 成 績

ポンプ車操法の部			小型ポンプ操法の部		
順 位	消防団名	氏 名	順 位	消防団名	氏 名
最優秀指揮者	南房総市消防団	押本 正樹	最優秀指揮者	八街市消防団	松井 裕司
最優秀1番員	山武市消防団	尾高 幸太	最優秀1番員	大多喜町消防団	古安 裕介
最優秀2番員	四街道市消防団	山口 卓也	最優秀2番員	市原市消防団	伊藤 成二
最優秀3番員	大多喜町消防団	黒川 和也	最優秀3番員	八街市消防団	大塚 潤
最優秀4番員	南房総市消防団	平野 真也			



金子裕協会顧問会会長の万歳三唱



# 第47回消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月5日(木) 東京都において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第47回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本指導会には、1都9県(173消防本部)から選抜された677名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月24日(金) 京都府京都市南区で開催される第47回全国消防救助技術大会を目指して日頃錬磨した救助技術を競いました。

千葉県からは11消防本部91名の隊員が県代表として出場、応援に駆け付けた皆様の大声援を受けて、日頃の成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。



## 開会式



## 陸上の部

### ☆ 引揚救助 ☆



市川市	消防司令補	金子 真也
	消防司令補	田島 誠光
	消防士長	武田 勇気
	消防士長	田中 道智
	消防士	遠藤 大亮

船橋市	消防士長	嶋崎 健二
	消防士長	松原 弘行
	消防士長	鎌田 尚吾
	消防士長	馬替 亮
	消防士	徳嶺 誠



☆ロープブリッジ救出



安房郡市 消防士長 稲葉 匡史  
消防副士長 粕谷 和紀  
消防副士長 渡辺 魁士  
消防士 曾我辺拓馬

☆障害突破



千葉市 消防司令補 松岡 慎悟  
消防司令補 児玉 龍太  
消防士長 稲見 康  
消防士 井川 裕介  
消防士 泉 達也

☆技術訓練



松戸市  
消防司令補 古橋 康則 消防士長 村田 直隆 消防士長 高橋 義征  
消防士長 北村 悟史 消防士長 内田 康規 消防士長 安藤 和紀  
消防士長 大柴 利樹 消防士長 稲田 将和 消防士長 飯坂 隆弘  
関係者 石井 慎吾 ナレーション 鈴木 麻里

水上の部

☆溺者搬送



松戸市 消防士 関根 卓磨  
消防士 月本 貴広

☆複合検索

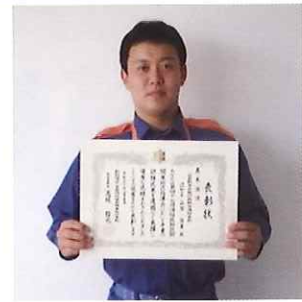


千葉市 消防士長 並木 悠

☆基本泳法



松戸市 消防士 月本 貴広



山武郡市 消防副士長 山田 浩貴

5月22日千葉県大会結果による全国大会出場者(陸上の部) ... 6・7月号に掲載

☆はしご登はん

佐倉市 消防士長 高野 渉

☆ロープブリッジ渡過

千葉市 消防士 稲田 隆秀

☆ロープ応用登はん

旭市 消防司令補 新井 正博  
消防士長 金井 淳輝

☆ほふく救出

成田市 消防司令補 鈴木 翔  
消防士 平久保新悟  
消防士 矢橋 政彦

おわりに

全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。



## わが町の消防団 ① 印西市消防団



印西市は、東京都心から約40km、千葉市から約20km、成田国際空港から約15kmに位置し、西は我孫子市・柏市・白井市、南は八千代市・佐倉市・酒々井町、東は成田市・栄町、北は利根川を隔てて茨城県に接しています。

印西市は、平成22年3月に印旛村、本埜村と合併し面積123.8平方キロメートルとなり、平成28年には市制20周年を迎え、今年は人口10万人を突破した。先人から継承されてきた伝統や文化、美しい自然環境と都心や成田空港への利便

性、整備された鉄道や道路交通網などからなる充実した都市基盤を有しており、今後ますますの発展が期待されているところです。

印西市消防団は、川上賢二消防団長のもと、4方面隊14分団45部、ラッパ部及び女性部の条例定数定員772名体制で、消防ポンプ自動車5台、小型動力ポンプ付き積載車40台を配備し活動しています。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で印西市は、震度6弱を観測し、県内では最も大きな震度を計測しました。震災の教訓から印西市消防団は災害発生時の減災につながる消防団活動の在り方を検討し、老朽化した消防団車両を更新するとともに、各分団部に対し応急処置セット、



チェーンソー等の救急救助用資機材を配備するなど、配備資機材の整備にも取り組んできました。

また、消防団員自身も災害現場活動への対応を目的として、新入団員の規律訓練、消防操法訓練、機械器具庫点検及びポンプ中継訓練を実施しており、災害現場での安全で正確な活動、資機材の取り扱いが行えるよう務めております。

特に、消防操法については、伝統的に熱心な取り組みをしており、平成22年には全国消防操法大会へ出場いたしま

した。千葉県消防操法大会へは合併後新印西市消防団となってから途切れることなく、連続で印旛支部の代表として出場するなど、常に上位の成績を残しております。

このような訓練で習得した技術を災害現場活動で活かすことはもちろんですが、目標に向かい団員が一つになることで、さらなる消防人としての連帯感が深まっていくと感じております。

その他、消防出初式、市総合防災訓練、各期全国火災予防運動時の特別警戒及び各種研修への参加などがあり、精力的に消防団活動を行っております。

また、女性部は、消防行事運営補助、各種防災イベントへの参加、火災予防運動中における街頭での啓発活動や救命講習等の啓発活動を行い、地域住民への「安心・安全」を確保する担い手として大いに活躍を期待しているところです。

今後も住民の生命、財産を守るという使命のもと、安心安全なまちづくりをめざし地域と住民を守る消防団として、日々訓練に取り組んでいきたいと思っております。



## わが町の消防団 ② 御宿町消防団



御宿町は千葉県の東南部、房総半島中央部東端に位置し、東京まで北西方向へ75kmにあり、人口は7,500人余り、面積24.86km<sup>2</sup>、半農半漁の小さな町です。

町名の由来については諸説ありますが、鎌倉時代に北条時頼が諸国行脚のおり、町内の須賀地区にある最明寺に宿泊した事で御宿という名が起こったとされており、『御宿（みやど）せしそのとき

よりと人とわば網代の海に夕影の松』という歌が残されており、広く町民に伝承されています。また、大正中期より昭和前期にかけて活躍した詩人・抒情画家『加藤まさを』が作詞した童謡『月の沙漠』は御宿の海岸がモデルであり、歌詞に登場するラクダに乗った王子と姫の像が砂浜に設置され、約2kmの三日月形をした白い砂浜と青い海に幻想的な雰囲気を与えており、毎年多くの海水浴客で賑わいます。

御宿町消防団は、明治27年に自治消防組として結成され、数回の改称を経て、昭和30年の町村合併に伴い、御宿町消防団と改称されました。

現在は1本部5分団からなり、井上団長をはじめとする総勢160名で組織されています。

活動としては、各分団は地域において、月1回の夜警を実施するほか、機械器具点検や各種訓練を行います。行事や事業の一部を紹介しま



すと、訓練礼式や消防操法訓練を行う統一訓練の実施、団員の資質向上のため幹部団員の消防学校への入校、また、町内花火大会での警戒、警備のほか、町総合防災訓練での消防団活動、一般住民や児童、生徒を対象として、消防団の活動紹介、消防団体験等によるPRで広く住民に周知を行い、団員の確保を図ることを目的とした消防団フェスタの開催や健康増進と親睦、団結力の強化を目的とした消防団球技大会の開催、また、防火デーにおける町内パレードや歳末には特別夜警を実施するなど、火災時の活動や風水害などに応じた活動はもちろん、地域に密着した活動も行っています。しかしながら、近年では少子高齢化や就業体系の変化によるサラリーマン団員の増加、地域コミュニティーの希薄化等から消防団員の確保が困難な状況になっています。



こうした状況のなか、町では御宿町消防団活性化検討委員会を発足、消防関係車両や施設の計画的な更新を行い、また、消防団の統合や装備強化、報酬、費用弁償額の引き上げを行うなど、減少傾向にある消防団員の確保対策に努めています。

今後も地域に密着した消防団として、郷土愛護精神のもと、更なる地域防災力の向上と地域住民の安心のため活動を行います。



# 東 西 南 北

## 東 西 南 北 勇気ある行動に感謝状を贈呈

### 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、平成30年4月23日(月)にいすみ市内で発生した建物火災において、早期通報と初期消火を行った市内在住の山口芳雄・好子ご夫妻に対し、平成30年6月5日(火)感謝状を贈呈しました。

この事案は、自宅にいた山口芳雄さんが物音に気づき屋外へ出たところ、付近の建物から炎が出ているのを確認したため、妻の好子さんに119番通報をするように指示し、自宅のホースを伸ばし現場へ駆け付け、直接火源に水をかけ消火したものです。

これらの行動で延焼拡大を防ぎ、被害を最小限に留めた、迅速で勇気ある山口ご夫妻を称え表彰いたしました。



## 東 西 南 北 平成30年度JR千葉支社総合復旧訓練に参加

### 船橋市消防局

船橋市消防局では、6月6日(水)にJR千葉支社が主催した、列車脱線事故救出救護訓練を習志野市消防本部及び千葉県警察本部とともに実施しました。

この訓練は、JR千葉支社が災害発生時における乗客の安全確保及び二次災害防止並びに早期復旧を目的として、毎年、千葉県内の運輸区において実施しており、車両の脱線により、多数の傷病者が発生した災害を想定しての救出、救護及びトリアージ訓練等、各関係機関との連携体制の強化が図られました。



## 東 西 南 北 Net119緊急通報システムを導入、運用開始

### 船橋市消防局

船橋市消防局では、今年度にNet119緊急通報システムを導入し、運用を開始いたしました。

このシステムは、聴覚や発語に障がいのある方のための緊急通報システムで、スマートフォンのインターネット機能を利用して、簡単な操作で119番通報が行えるシステムです。運用開始にあたり、平成30年6月9日(土)及び6月13日(水)の2日間で登録説明会を開催し、登録者からは「これからは外出も安心して出来る」との声をいただきました。

今後も、より多くの方に周知、登録して頂けるよう、広報活動を進めていきます。





## 東 西 大規模震災への対応強化 南 北 千葉県消防局

大規模震災に対する消防即応体制の更なる充実強化を図るため、全消防職員が震災対応訓練を実施しました。

震災対応訓練では、千葉県直下地震を想定したブラインド型ロールプレイング方式で図上訓練を行いました。震災時は、非番及び休日職員を招集し人員の増強、消防局と各消防署に対策本部を設置し消防部隊の運用や被害の早期把握、正確な情報の受伝達等、地震の発生直後から迅速かつ的確に対応しなければならないため、訓練を行うことが非常に重要となっています。

千葉県消防局では今後起こりうる大規模震災に、迅速に対応出来るよう、これからも訓練を続けて行きます。



## 東 西 救急車適正利用啓発横断幕の設置 南 北 松戸市消防局 小金消防署

松戸市小金消防署は、平成30年6月25日(月)に松戸市防火協会小金支部の協力のもと、年々増加傾向にある救急出場の減少を目的に、救急車適正利用の横断幕を車庫脇に設置した。

松戸市小金消防署は松戸市の北部に位置し、消防署前の道路は埼玉県三郷市から市の南北を通るため、交通量が多くPR効果が期待できる。設置した横断幕は、大きく『早く助きたい命がある! 救急車の適正利用にご協力をお願いします』の文字が入り、近年救急出場件数の増加と軽症者は自ら病院へ行き救急車の適正利用をするよう広くアピールしている。



## 東 西 救急隊員研修会を実施 南 北 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部

夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部では、平成30年6月25日(月)、救急隊員研修会を大原消防署にて開催しました。

本研修では、いすみ警察署刑事課長 根本氏及び千葉県警察本部刑事部鑑識課 佐瀬氏を講師に招き、救急隊員による救急症例の発表のほか、事件性のある救急事案の対応におけるアドバイスや、現場の鑑識作業についての講演を受けました。



救急隊員及び消防隊員が災害現場で活動するうえで、現場保存を考えた行動をとることは大切であり、今後も消防機関と警察機関が緊密な連携活動を継続することが重要であることを再認識しました。

当消防本部では今後も様々な関係機関との交流を深め、連携強化につなげていきます。



# 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

## 平成 30年 8月

- 1日～3日 少年消防クラブ交流会(全国大会)(浦安市)  
 21日 平成30年度防火・防災ポスター展(千葉市)  
 26日 九都縣市合同防災訓練・千葉県会場訓練(勝浦市)



平成30年度 全国統一防火標語  
**「忘れてない? サイフにスマホに 火の確認」**

平成30年  
**夏の交通安全運動**  
 7月10日(火)から7月19日(木)  
 スローガン  
**～ あなたは今 安全運転をしていますか ～**

### <表紙の説明>

#### スプラッシュシェイカー (山武市) 山武支部

山武市蓮沼にある千葉県最大級のプール「蓮沼ウォーターガーデン」。  
 平成29年度の夏期観光入込数は16万3千人と、県内2位の入込者数を誇っている。

施設には、国内でも珍しい、高さ20mから最大傾斜角度90度から落下する巨大ウォータースライダー「スプラッシュシェイカー」や、2歳の子供から遊ぶことができる「トドラーキッズスペース」などがあり、大人から小さな子供まで楽しめる施設となっている。

